

高速バス利用者のための駐車場の整備 並びにバスターミナルの建設について（改訂継続）

現在、J R 桐生駅南口から発着する高速バスは、名古屋・奈良・京都・大阪行きと羽田空港行きが運行され、3月からは大阪市にあるユニバーサルスタジオに乗り入れが開始されるなど、高速バスは桐生市民の貴重な交通手段であり、コロナ禍からの回復もあって利用者の増加が見込まれます。

今後、増々の利用客の利便性を図ると同時に利用者の増加にもつながることから、市内のバス運行ルート上にバスターミナルの建設を検討いただけますよう要望いたします。

桐生市からの回答

高速バスのバスターミナルの建設につきましては、既存のJ R 桐生駅南口停留所は鉄道とおりひめバスの結節点であり、タクシーの待機所や民間の駐車場も整備されており、観光案内所、トイレ、アーケードなど周辺施設の環境と人の流れの面からも高速バスの拠点として適した場所と言えますが、ご提案の市内のバス運行ルート上への建設は、駐車場用途を含む広大な用地の確保と建設整備費などに大きな課題があります。

また、本市の広域幹線交通として大変重要な役割を担っている鉄道の利用促進も考慮した総合的な視点から考える必要があることから、新たにバス運行ルート上にバスターミナルを建設することは難しいものと考えます。ご理解いただきますようお願いします。

[回答担当] 共創企画部交通ビジョン推進室交通ビジョン推進担当